

# 愛の生理学

## -オキシトシンと愛-

たかはし とく

講師：高橋 徳 氏 (ウイスコンシン医科大学教授・  
統合医療クリニック高橋医院院長)

日時：2015年10月28日(水) 16:20～17:50

場所：広島大学大学院総合科学研究科J306(J棟3階)

### ■講演会概要

オキシトシンは神経ホルモンの一つで、主に脳内の視床下部で生成されます。オキシトシンが授乳や子宮収縮に大きく関係していることは早くから知られていましたが、抗ストレス作用に関係していることも分かってきました。オキシトシンが脳内で分泌されるとストレスに 適応することができ、心身への悪影響を和らげてくれます。加えて、オキシトシンは「思いやり」や「信頼」などの感情を促し、私たちの人間関係を築くのに重要な役割を果たしています。

しかしながら、オキシトシンを日常的に投与し続けるとオキシトシン受容体の感度が鈍化しその効果の減少が懸念されます。従って体外からのオキシトシンの投与ではなく、私たちの体内でオキシトシンの発現を増強する方法が推奨されます。幸いにも、これまでの研究の結果、体内においてどのような仕組みでオキシトシンの発現が増加するか解ってきました。「人を思いやったり」「人から大切にされたり」するような積極的な人との関わりを持つことは、体内オキシトシンの発現を増加させ日常のストレスに負けない心身を保つために重要です。

### ■講師略歴

オキシトシン研究の第一人者。オキシトシン研究をまとめた“The Physiology of Love”(邦題：人は愛することで健康になれる)を2008年に出版。

現在、岐阜県大垣市にてクリニックを開業し、東西医療のハイブリッドとしての統合医療の最先端を実践している。

- 1977年 神戸大学医学部卒業
- 1977年 - 1988年 兵庫医大第二外科
- 1988年 - 1990年 ミシガン大学 ポスドク
- 1992年 - 2000年 ミシガン大学 助手
- 2000年 - 2007年 デューク大学 外科准教授
- 2007年 - 2007年 デューク大学 外科教授
- 2008年 - ウイスコンシン医科大学 外科教授
- 2013年 - 統合医療クリニック、高橋医院 (岐阜県)



講師：高橋 徳 氏

参加費無料  
事前申込不要

学内・学外を問わず、  
多くの方のご参加を  
お待ちしております。